



TOTO

手洗器用自動水栓・電気温水器内蔵タイプ施工説明書





製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

安全のために必ずお守りください


施工の前にこの「安全のために必ずお守りください」をよくお読みの上、正しくお取付けください。この説明書では、機器を安全に正しくお取付けいただき、お客様や他人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろは表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。


表示	意味
 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。また下に示す記号は説明書や製品に表示してお客様に安全に正しく製品をお使いいただくようにしたものです。内容をよく理解して正しくお使いください。


 一般的な指示	 必ずアース線を接続せよ
 一般的な禁止	 風呂、シャワーなど水場での使用禁止

警告

 水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームでは設置、使用しないでください。
(故障・感電の原因になります。)

 アース線をアース端子に接続してください。(D種接地工事(1000Ω以下)
(アースの取付けが不完全な場合は、感電する恐れがあります。)

注意

 タンクが空のときは絶対電源スイッチを入れないでください。
(故障・火傷の原因になります。)

おねがい

給水圧力範囲は0.05~0.75MPaです。この圧力範囲でご使用ください。

給水は、上水道に接続してください。

中水道及び異物を多く含む水には使用できません。

電源は交流100V (50/60Hz)。消費電力は約500Wです。

電気工事が必要な場合は必ず電気工事に依頼してください。

お客様用として、取扱説明書を製品に張付けています。工事完了後、お客様に手渡ししてください。手渡し出来ない場合は、必ず製品に張付けたままにしておいてください。

施工上の責任は当社では負いかねますので、万一施工上に起因する不都合が生じた場合は、賣店の保証規定によって修理していただくようお願いいたします。

前面パネルにテープで張付けられている注意書類は、読んだ後取除いてください。

凍結の恐れのある場所には設置しないでください。

仕 様

TEL590BE・TEL833BE (壁給水タイプ)

電 源	AC100V 50/60Hz
消 費 電 力	約500W
電 源 コー ド	有効長1.1m
タ ン ク 容 量	1.5ℓ
沸 上 が り 時 間 (入水温約15℃~38℃)	約5分
製 品 寸 法	170mm(幅)×150mm(奥行)×305mm(高さ)
給 水 方 式	元止め式
沸 上 が り 温 度	約38℃
安 全 装 置	温度異常防止器(手動復元式)(Xケル)
給 水 量 低 必 要 水 圧	(蒸動時) 0.05MPa
圧 力 最 高 水 圧	0.75MPa
周 囲 使 用 温 度 範 囲	0℃~40℃
周 囲 使 用 湿 度 範 囲	90%RH以下

取 付 け 前 に

- 電気製品ですので、水がわかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所での使用は避けてください。故障の原因になりますので特に、浴室内では使用しないでください。
- 電気工事の必要な場合は必ず電気工事店に依頼してください。電源は交流100V(50/60Hz)、最高消費電力は500Wです。必ずこれに適した配線をしてください。
- プアースは、D種接地工事(100Ω以下)を行ってください。
- 給水圧力範囲は、0.05~0.75MPaです。この圧力範囲内でご使用ください。
- 給水は上水道に接続してください。中水道及び異物を多く含む水には使用できません。
- センサー一面を傷つけない様十分ご注意ください。
- 入/アウトを陶器に固定した後、電源を入れてください。電源を入れてから約20秒間は、感知レベルを自動調整しますのでその間は、センサーに手をかざしたり陶器内に物を置かないでください。また陶器面は、かるくふくなどしておいてください。
- 陶器は、自動水栓専用陶器ですので、陶器品番末尾にAが付いていることを確認してください。

自動水栓	陶器品番
TEL590BE	L590A
TEL833BE	L833A

03303 1999.5.19

別 売 品

RHEI

- 脚(4本)
フッパスタ
55mm
- 固定金具
(2個)
- 木ねじ
(4本)

床固きする場合必要となります。

下 準 備

TEL590BE

仕上面

木枠を必ず入れておくこと

25鉛管 (Pトラップの場合)
フラグする。(給水1/2B)

30径七管 (Sトラップの場合)

仕上面

仕上面

木枠 (現場手配)

板厚30以上

310

400

45以上

15以内 壁下地面

壁仕上面

木枠

壁仕上面

(注) Pトラップの排水位置は手洗器の中心から左に45±15です。

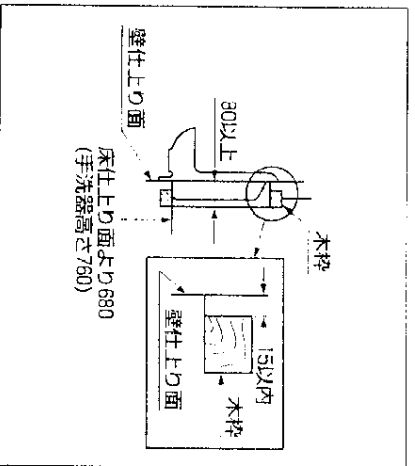
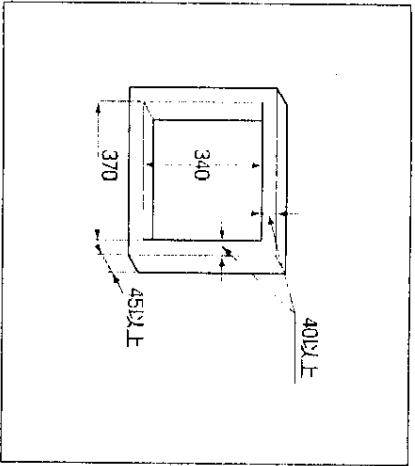
(注) 壁仕上げ前に図のように木ねじ固定用の木枠を入れておいてください。

(注) 木枠は陶器でかかせませんので必ず木枠の面にも壁仕上げを行ってください。

TEL8338E

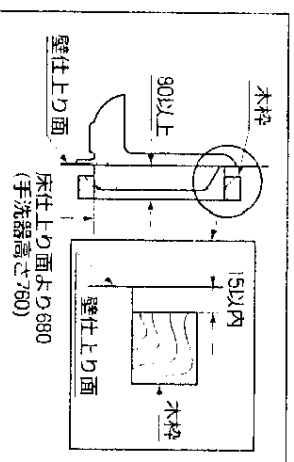
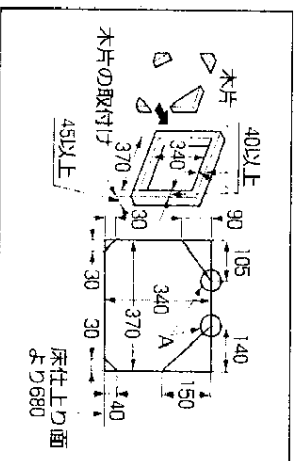
(例) 乾式工法 (ガラスボード等)

壁仕上げ前に、木ねじ固定用の木枠を壁心材 (桧木) に固定しておいてください。

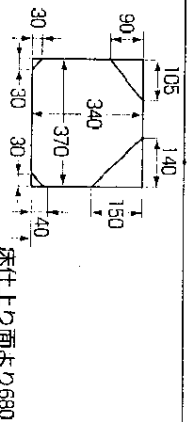


(例) 湿式工法 (フロック壁等)

壁仕上げ前に埋込む木枠は、あらかじめ下図のように四隅に木片を取付けてください。壁仕上げを行うのに必要です。

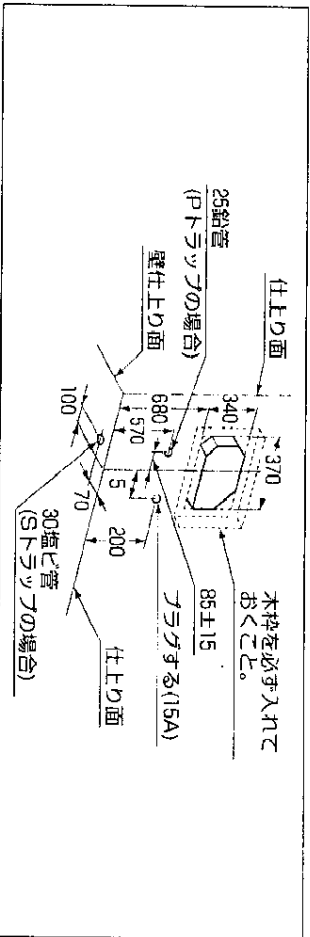


壁仕上げ後、木枠を埋込んだ位置を割り出し、下に示す寸法に壁を切り欠いてください。



原寸大の型紙を、各支社・支店・営業所で準備していただきます。ご利用ください。

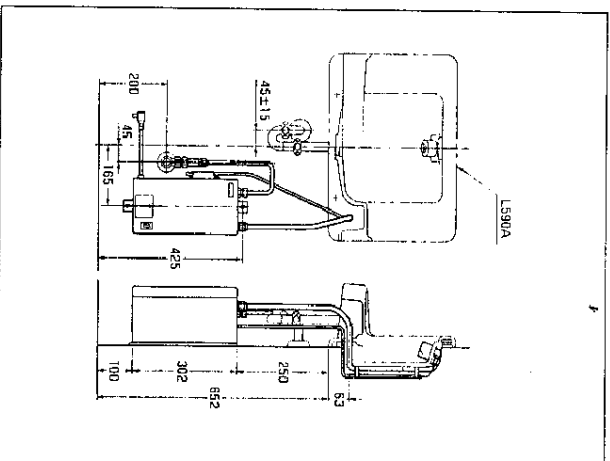
ガラスボードの場合の給排水位置



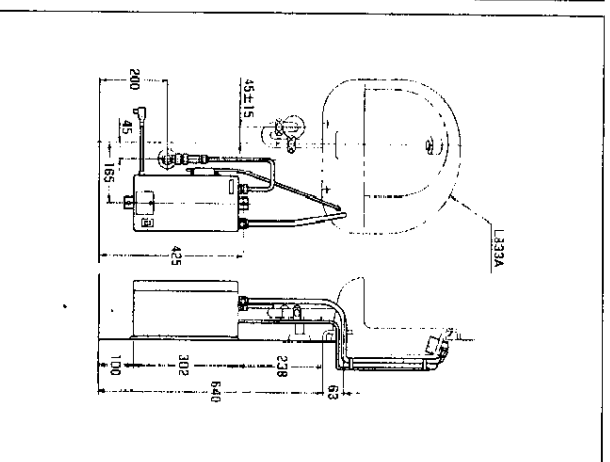
(注) Pトラップの排水位置は手洗器の排水口芯から向かって左に45±15です。
(木枠の中心から85±15)

完成図

TEL590BE



TEL8338E



取付完了後の確認

取付けが完了した後、次の方法で確認を行ってください。
タンクが空の状態ではータースイッチを「入」にすると、空だきとなり、漏水及び故障の原因になります。

1.LED付センサーの確認

- (1) ヒータースイッチが「切」であることを確認してください。
- (2) 設置後、AC100Vタイマは電源プラグをコンセントへ差込んでください。
(この時止水栓は閉めておいてください。)
- (3) スイッチ部のLED付センサーは陶器の色、設置条件により点滅する場合としない場合がありますが、故障ではありません。点滅した場合、そのまま設置します。
(約10分後にLEDの点滅は消え、その後は正常に作動します。)

2.通水の確認

- (1) 止水栓を開いて給水してください。
- (2) 手を吐水口に近づけ光電センサーに感知させ、20秒程お待ちください。吐水口から水が出はじめるとタンクが満水になったことを示します。
- (3) スイッチ部の吐水口に手を近づけると水が出て、手を離すと約1〜2秒遅れて水が止まることを確認してください。

何らかの原因で約1分間連続して感知すると自動的に止水します。このような場合は、次のことを確認してください。

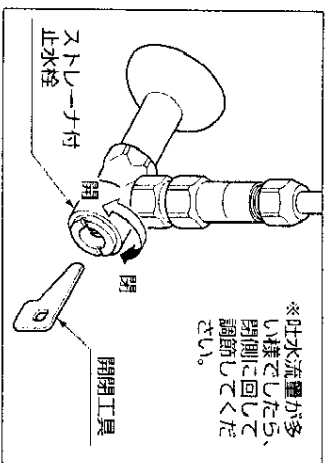
- センサー面が汚れていないか。
- スイッチ部の取付位置が適切か。
- 手洗器内に物が置かれていないか。

3.通電の確認

- (1) ヒータースイッチを「入」にしてください。
- (2) 内部が水るとき通電ランプが点灯すれば正常です。
- (3) 沸上がるまでには約5分かかります。(入水温度約15℃の場合)
- (4) 沸上がると通電ランプは消灯します。

吐水量の調節

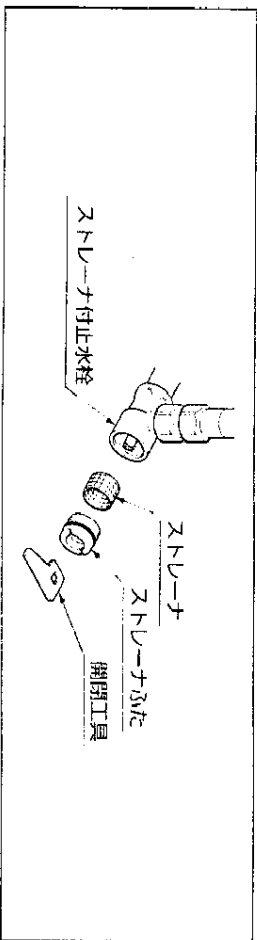
定流量弁 (5ℓ/min) を内蔵しており基本的に調節は不要ですが、吐水を絞る必要がある場合は、付属の開閉工具でストリーナ付止水栓を回して、吐水量を調整してください。



ストリーナの掃除

ストリーナがつかると吐水量が少なくなり、十分な機能が發揮されなくなります。器具取付後は、必ずストリーナを掃除してください。また、お客様にもときどき掃除していただくようにご指導ください。

- ストリーナを取外す時は、付属の開閉工具で止水栓を閉めた後、ストリーナふたを外してください。



工事店様へ

1. 施工が終わったら必ず各接続部から漏水の無いことを確認してください。

2. お客様に引き渡す前に凍結の恐れがあるときは、止水栓を閉め、電気温水器の水抜きをしてください。

3. お客様に取扱説明書の使用法、日常の点検・手入れなどについて十分ご説明ください。

4. 特に次のことについては十分にご説明ください。

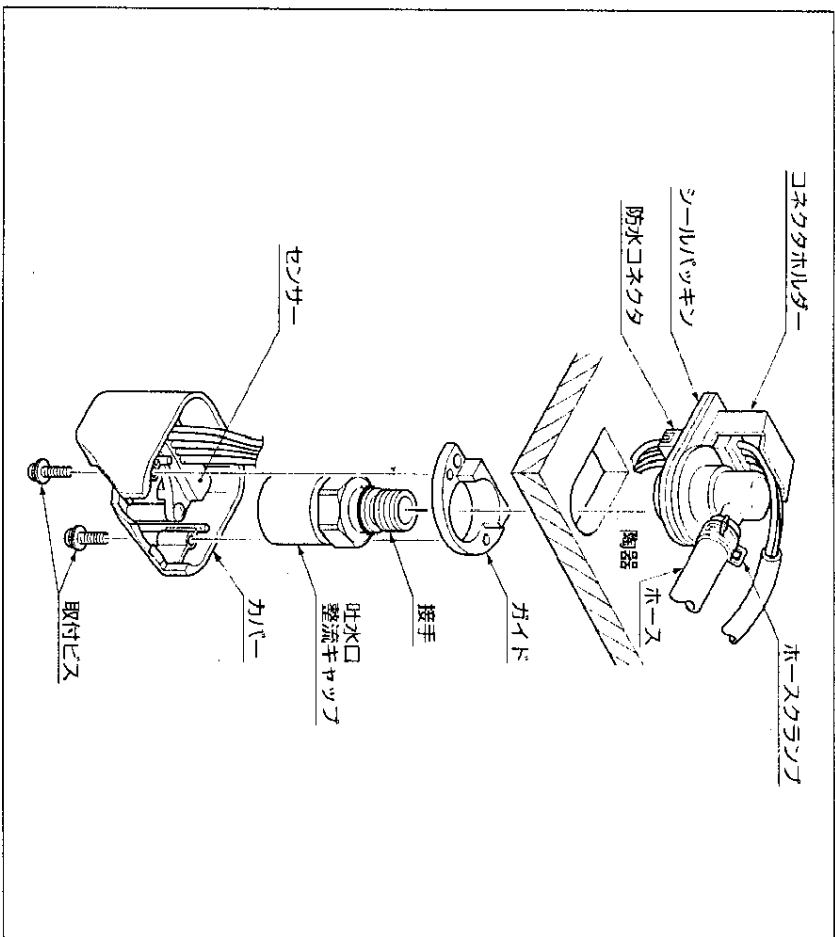
- (1) タンク内が空のとき、絶対に通電しないこと。
- (2) 吐水口を絶対にふさがないこと。
- (3) 沸上がる途中では吐水口から湯が滴下しますが、これはタンク内の水が膨張するため故障ではないこと。
- (4) 凍結予防のための使用方法。
- (5) 冬期使用時、最初に冷たい水が出る場合がありますが、これは配管内に残水があるため故障ではないこと。

お手入れ

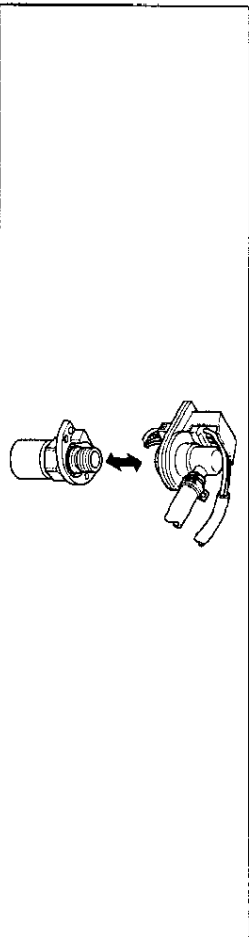
器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。なお、お手入れ方法は取扱説明書をご覧ください。

器具の取付け

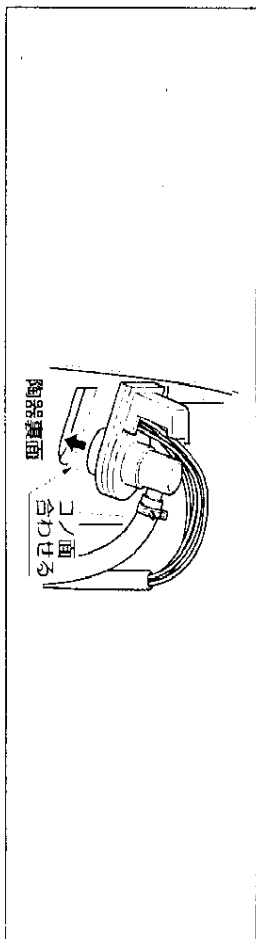
1. スパウト部取付け



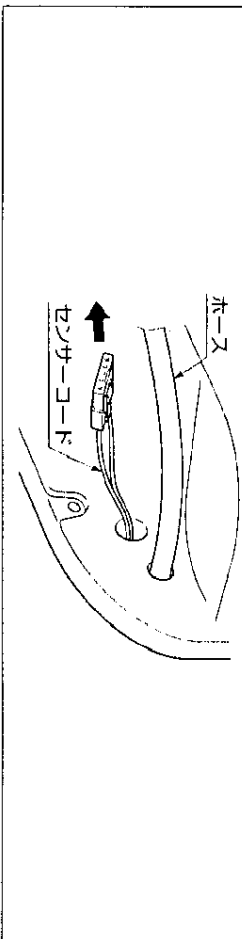
① ガイド及び接手を吐水接手より一度、取外してください。



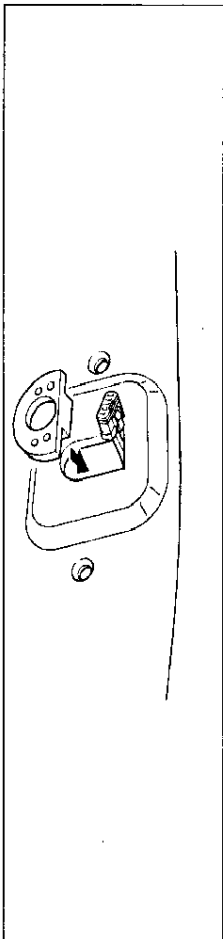
② コネクタホルダーのシールをはがし、陶器に固定してください。コネクタは、穴を通して、陶器表面へ出してください。



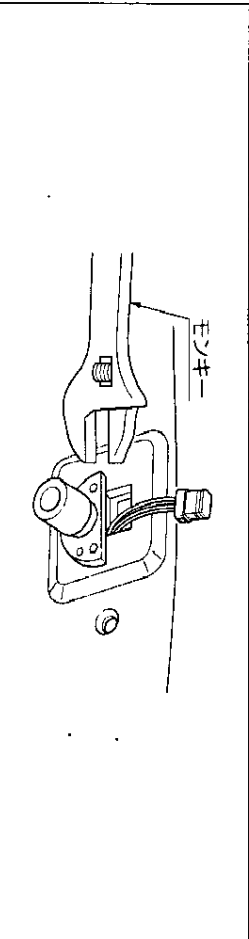
③ 陶器下部の大穴にコネクタを、小穴にはホースを陶器裏面から表面へ出してください。



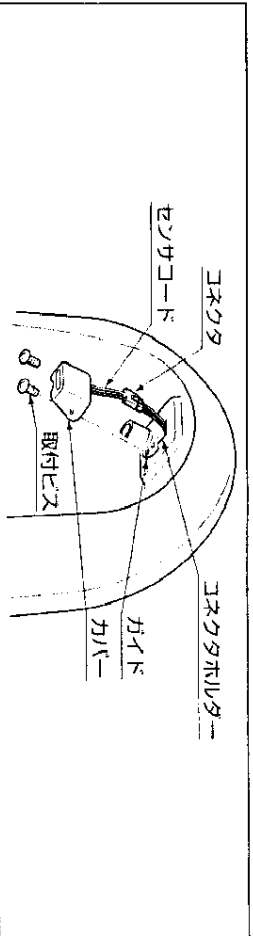
④ 陶器表面にガイドを図の向きにセットしてください。このときリード線のかみ込みに注意してください。



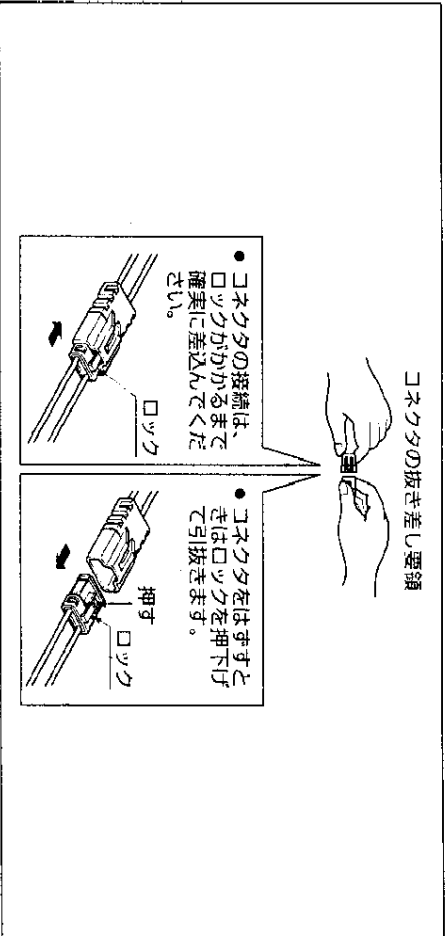
⑤ 接手をねじ込み、ガイドを固定してください。締付けは、リード線のかみ込みに注意しながらモンキー等で確実に行ってください。



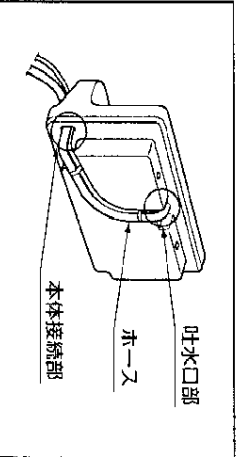
⑥コネクタを接続した後、コネクタホルダー内にコネクタを納めてください。次に、カバーの凸部をガイドの凹に合わせる要領でガイドにカバーをピンス止めしてください。この際、センサーコードのかみ込みに注意してください。



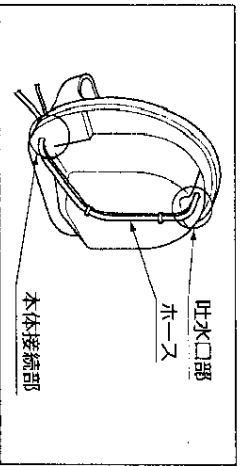
(注) コネクタの接続は、ロックが確実にかかるまで、差込んでください。また、抜き差し時に防水用Oリングを傷つけないでください。



TEL590BE

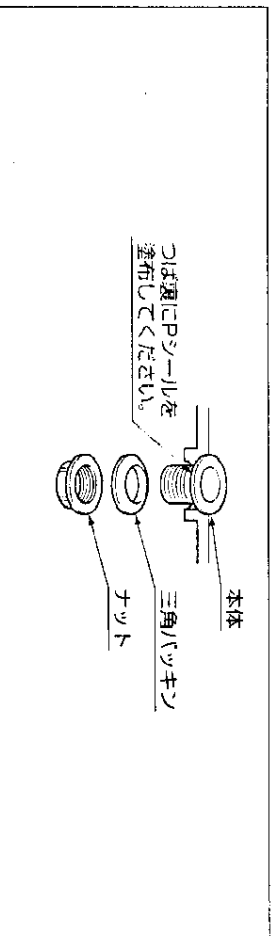


TEL833BE



(注) ホースは変形やねじれのないよう取扱いに注意してください。
(注) ホースの防露対策は必要に応じて現場にて行ってください。

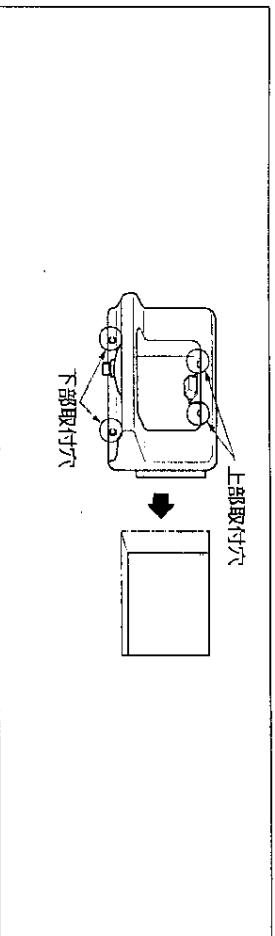
2.排水金具の取付け
手洗器に排水金具の本体部を取付けてください。



3.手洗器の取付け

TEL590BE

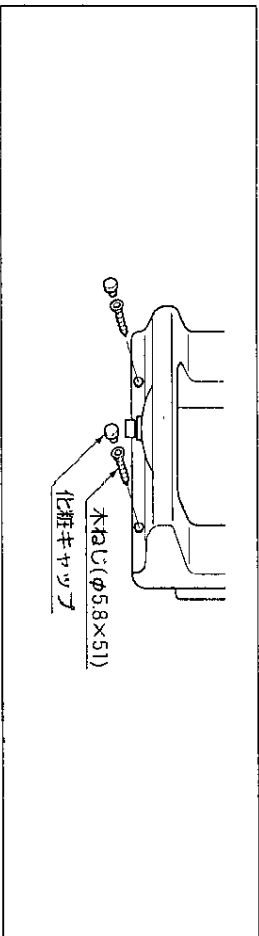
手洗器を仮置きして、取付け穴の位置をけがき、下穴（4カ所）をあけてください。



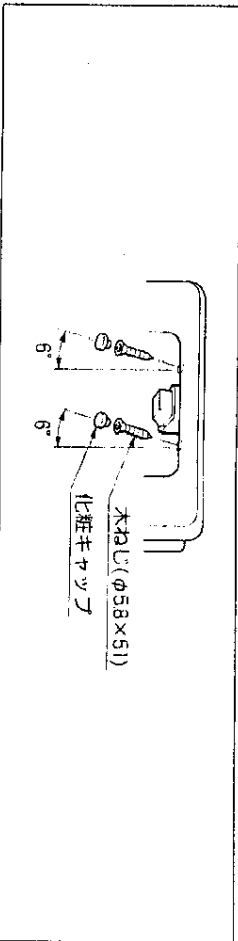
(注) 上部木ねじの下穴をあける際は陶器の傾き（約6°）に合わせて穴あけをしてください。

次の手順で木ねじを固定してください。

①下部木ねじの固定（TA3N×2コ使用）



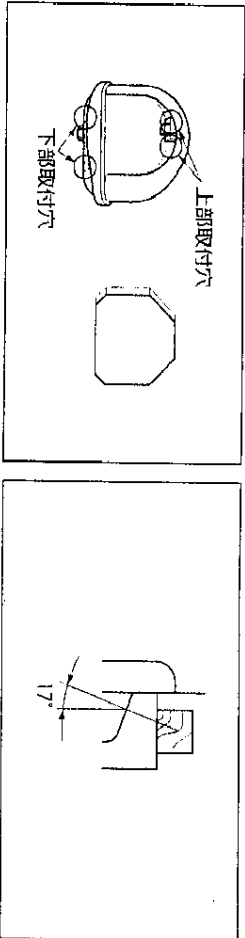
②上部木ねじの固定 (TA3N×2コ使用)



(注) 施工後の補修を容易にするために、手洗器をモルタルで埋戻したり接着剤での固定はしないでください。

TEL833BE

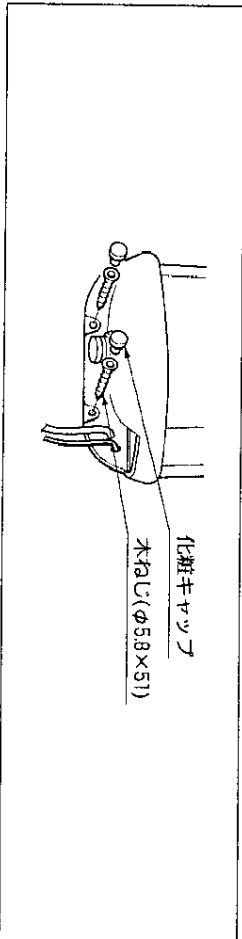
手洗器を仮置きして、取付穴の位置をけがき、下穴(4カ所)をあけてください。



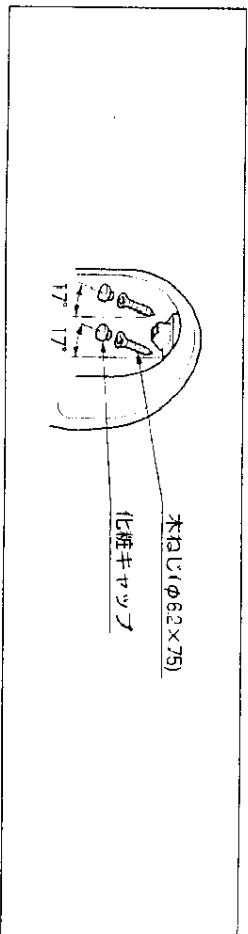
(注) 上部木ねじの下穴をあける際は陶器の傾き(約17°)に合わせて穴あけをしてください。

次の手順で木ねじを固定してください。

①下部木ねじの固定 (TA3N×2コ使用)



②上部木ねじの固定 (TL833D×2コ使用)



(注) 上部木ねじと下部木ねじは長さが違いますので間違わないようにしてください。

(注) 施工後の補修を容易にするために、手洗器をモルタルで埋戻したり接着剤での固定はしないでください。

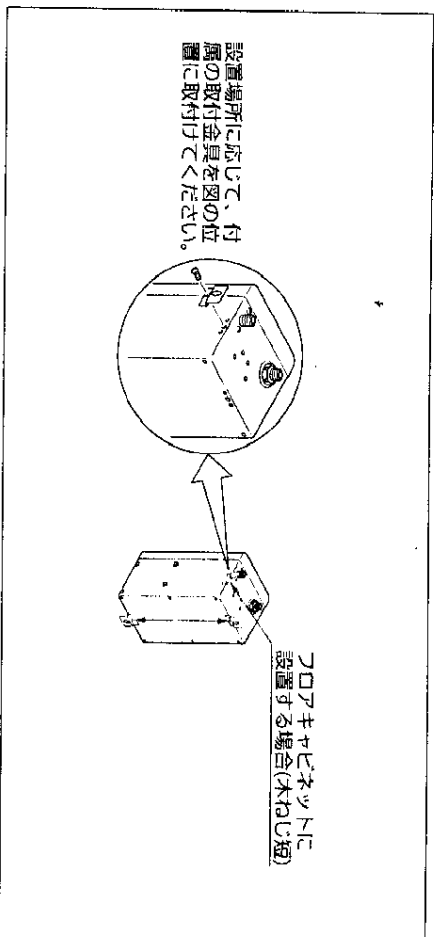
4. 電気温水器の取付け

器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

①器具への給水の取出し位置を確認してください。

(注) 完成図の頂を確認してください。

②電気温水器本体を設置します。この時、設置場所に応じて、付属の取付金具を図の位置に取付けてください。



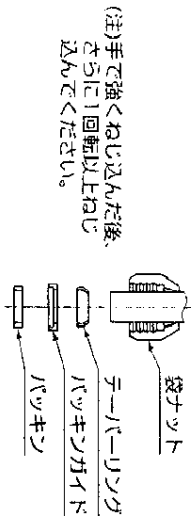
③給水栓(ストレーナ付止水栓)を取付けてください。

④給水栓の止水栓部に逆止弁を取付けてください。

⑤給水口連結管を逆止弁と電気温水器給水口に接続するために連結管の逆止弁側を必要長さにて切断してください。このとき接続口への差込み代を約20mm以上確保してください。

(注) 連結管を切断した後、必ず水洗いにより、切り粉を取除いてください。

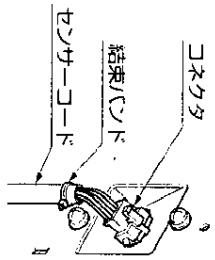
⑥給水口連結管に図のように部品を入れ接続してください。
 (注) パッキン・パッキンガイド・テーパリングは必ず図の向きに入れてください。



(注)手で強くねじ込んだ後、さらに1回転以上ねじ込んでください。

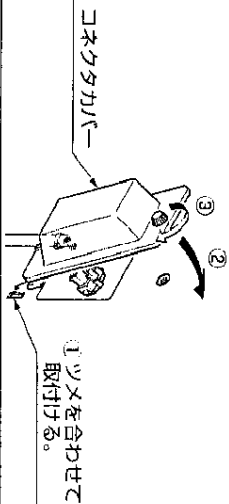
⑦出湯口とホースを接続してください。このとき、ホースはカッター等を用い、適当な長さに切断します。切断面は、垂直にかつ確実に行ってください。

⑧センサーコードのコネクタと駆動部のセンサー用コネクタを接続します。
 (注) コネクタの接続は、ロックが確実にかかるまで、差込んでください。



⑨コネクタカバーを取付けてください。

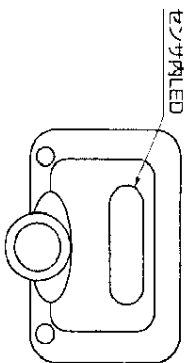
(注) このとき、センサーコードの結束バンドは、コネクタカバーの中に納めて取付けてください。



⑩付属のアース線をアースターミナルに接続してください。

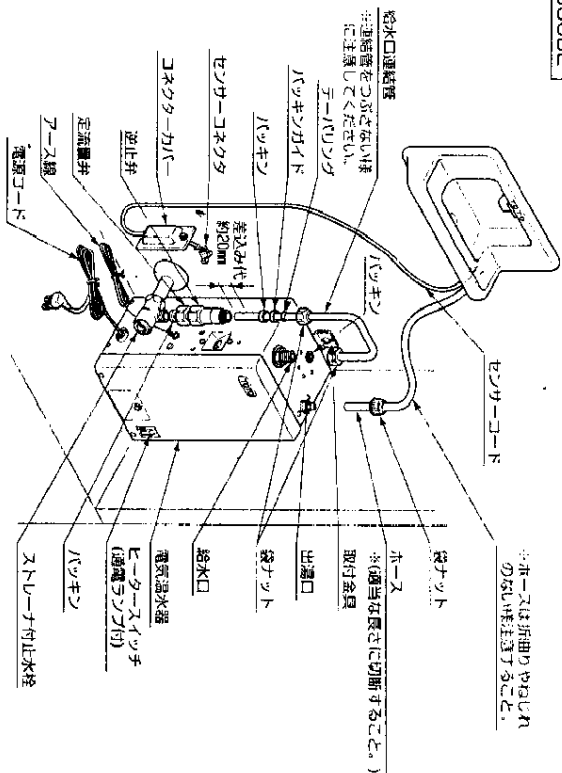
※器具の取付けが完了しましたら、取付完了後の確認の項を参照ください。

●電源を入れてから約10分間は、感知すると点滅しますが、故障ではありません。
 (約10分後、LEDの点滅は消え、その後は正常に作動します。)



※電源を入れてから、約20秒間は、機器内に物を入れていないでください。
 ※点滅が消えない場合がありますが故障ではありません。
 (約10分後、LEDの点滅は消え、正常に作動します。)

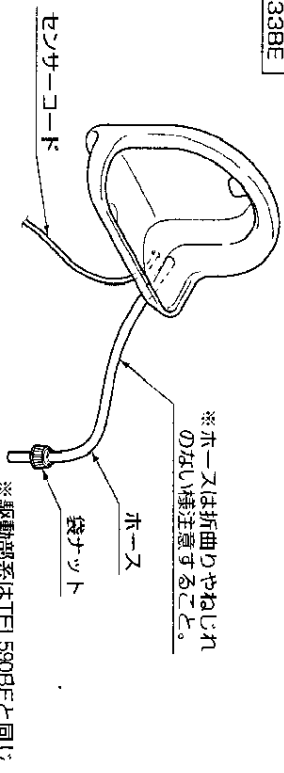
TEL590BE



※ホースは折曲りやねじれのない様注意すること。

※ホースは折曲りやねじれのない様注意すること。
 ※適当な長さで切断すること。
 ※取り付け金具

TEL833BE



※ホースは折曲りやねじれのない様注意すること。

※駆動部系はTEL590BEと同じ

※付属の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。手渡しできない場合は、工事完了後バンドルなどに吊り下げておいてください。